

《パッケージ番号》○○

希望調査に記入する
番号です。選択できるパッケージ番号
は、学部によって異なります。

テーマ

**パッケージ
テーマ名**

概 要

キーワード :

各パッケージの「概要」や「キーワード」のほか、「授
業計画書」を参考にテーマを選択しましょう。

第1ターム

第2ターム

第3ターム

第4ターム

授業科目名

授業テーマ

学系

授業主担当者

曜日時限

単位数

表の構成

第1タームの2単位分は
必ず履修します。第2～4タームは、必ず
1単位以上履修します。

6単位以上を必ず履修します。(赤枠の例では7単位)

＜2018年度 パッケージ科目テーマ一覧＞

＜履修にあたっての注意事項＞

- 第1タームに開講される2単位分の授業テーマは、必ず履修すること。
- 第2～4タームでは、必ず1単位以上履修すること。
- 全10単位分の授業テーマのうち、6単位以上を必ず履修すること。

《パッケージ1》 3 1

私たち21世紀市民が目指すのは、人類の持続可能な発展です。世界各地で問題になっている大気汚染や海洋汚染など**自然環境**の問題はもちろんのこと、私たちを取り巻く**社会環境**にも目を向けると、実にたくさんの取り組むべき課題が横たわっていることに気づきます。本テーマでは、自然科学だけでなく人文科学の視点からも環境について学ぶことで将来の**持続可能な社会**の在り方について考えます。

キーワード： 自然環境、社会環境、持続可能な社会



第1ターム

第2ターム

第3ターム

第4ターム

生物の世界f

海と生命

自然・生命	瀧尾 進
月4	1単位

物理学入門h

生物物理概論

自然・生命	小澄大輔
月4	1単位

現代教育について考えるa

障害者と教育

人文・社会	古田弘子
月4	1単位

現代教育について考えるb

持続可能な社会づくりと教育

人文・社会	宮瀬美津子
月4	1単位

物理学入門f

天文学概論

自然・生命	高橋慶太郎
木4	1単位

化学と環境b

健康と化学

自然・生命	大平慎一
木4	1単位

地球環境科学の最前線e

地球を巡る大気と水1

自然・生命	小島知子
木5	1単位

地球環境科学の最前線f

地球を巡る大気と水2

自然・生命	小島知子
木5	1単位

暮らしと化学E

自然の中の化学物質

自然・生命	西野 宏
木4	2単位

《パッケージ2》 3 2

命とは何であり、**生きる**とはどういうことなのでしょうか。私たちは、この永遠ともいえる問いから目をそらしがちですが、**生命の成り立ちや進化**を理解し、疾病や障害、最近の医療や倫理的問題について知ることは、この深遠な問いに向き合うきっかけになります。本テーマでは、生命科学や薬科学、保健科学等の視点に人文科学の視点を接続し、生物の命の謎、また社会的存在としての人間の命の謎に挑みます。

キーワード : 命 、 生きる 、 生命の成り立ちや進化



第1ターム

第2ターム

第3ターム

第4ターム

生物の世界d

種集団維持戦略
(有性生殖の意義と機構)

自然・生命	高宗和史
月4	1単位

最先端の生命科学d

エイズ等の感染症と造血・免疫

自然・生命	鈴 伸也
月4	1単位

現代世界の形成と課題b

ハンセン病講座

人文・社会	新井英永
月4	1単位

倫理学入門b

現代社会の倫理的諸問題2

人文・社会	田中朋弘
月4	1単位

薬科学入門a

薬の科学1

自然・生命	森岡弘志
木4	1単位

薬科学入門b

薬の科学2

自然・生命	森岡弘志
木4	1単位

医療における理工学c

医療における放射線の応用1

自然・生命	船間芳憲
木5	1単位

医療における理工学d

医療における放射線の応用2

自然・生命	藤原康博
木5	1単位

現代社会と医学A

映画を通して考える生命倫理

人文・社会	門岡康弘
木4	2単位

《パッケージ3》 33

人間は**自然環境**との関わりの中で生きています。ここでいう自然とは、身近な海や山だけでなく、**宇宙・地球環境**の形成プロセスなどを含む複雑かつ広大な体系を意味します。こう広く捉えた自然と**人間生活**の相互作用について理解することは、両者の関係が今後どうあるべきかを考えるために極めて重要です。本テーマでは、自然科学に人文科学を加味した巨視的・微視的知見を駆使して自然との接触を試みます。

キーワード： 自然環境、宇宙・地球環境、人間生活

テーマ

自然に触れる

第1ターム

第2ターム

第3ターム

第4ターム

物理学入門g

化学物理概論

自然・生命	小澄大輔
月4	1単位

地球環境の現状と人類b

宇宙、太陽系、そして地球2

自然・生命	磯部博志
月4	1単位

モノが語る歴史e

植物と昆虫と人の歴史1

人文・社会	小畑弘己
月4	1単位

モノが語る歴史f

植物と昆虫と人の歴史2

人文・社会	小畑弘己
月4	1単位

地球環境の現状と人類a

宇宙、太陽系、そして地球1

自然・生命	磯部博志
木4	1単位

物理学入門f

天文学概論

自然・生命	高橋慶太郎
木4	1単位

物理学入門e

文系のための物理学入門

自然・生命	岸木敬太
月5	1単位

地球環境科学の最前線b

はじめて学ぶ海洋学（深海編）

自然・生命	横瀬久芳
木4	1単位

生物の世界A

生命の進化と歴史

自然・生命	高宮正之
水4	2単位

《パッケージ4》 3 4

今日、私たちが暮らす社会には、**災害や事故**などさまざまな危険が潜んでいます。このような危険を回避し、日々の安心を手に入れるためには、どのような対処が求められるでしょうか。**安全・安心な社会**の構築には、対処すべき物事と**目指すべき社会**のイメージを明確にすることが必要です。本テーマでは、何をもって安全・安心と言えるのかを、自然環境だけでなく、人間の生活にも目を向けて考察します。

キーワード： 災害や事故、安全・安心な社会、目指すべき社会



第1ターム

第2ターム

第3ターム

第4ターム

地球環境科学の最前線g

火山を究める1

自然・生命	長谷中利昭
月 4	1単位

地球環境科学の最前線h

火山を究める2

自然・生命	長谷中利昭
月 4	1単位

現代教育について考えるc

ライフスタイルと教育1

人文・社会	増田 仁
木 5	1単位

現代教育について考えるd

ライフスタイルと教育2

人文・社会	増田 仁
木 5	1単位

化学と環境a

大気化学

自然・生命	戸田 敬
木 4	1単位

数学の世界b

社会における確率・統計

自然・生命	濱名裕治
木 4	1単位

持続可能な都市と地域づくりB

まちの基盤づくり

自然・生命	大谷 順
月 4	2単位

暮らしと化学F

暮らしの中の光と色

自然・生命	藤本 斉
月 5	2単位

《パッケージ5》 4 1

私たち**人間**は、どのようにして生まれ、育ち、一生を終えていくのでしょうか。また、人類はどのように成立し、現代に至り、未来に向かっていくのでしょうか。そもそも「**ヒト**」とは何なのでしょうか。本テーマでは、ヒトの本来の性質や人類の歴史を、哲学・社会学的視点のみならず言語学的視点、さらには自然科学的視点から検討することにより、人間の**存在と営み**の意義について明らかにします。

キーワード： 人間、ヒト、存在と営み



第1ターム

第2ターム

第3ターム

第4ターム

最前線の社会文化研究c

アジアを人類学する1

人文・社会	シンジルト
火 4	1単位

最前線の社会文化研究d

アジアを人類学する2

人文・社会	シンジルト
火 4	1単位

言語の諸相c

文字の人類史1

人文・社会	児玉 望
火 5	1単位

現代と文学a

近現代文学と国語教科書

人文・社会	仁野平智明
火 4	1単位

倫理学入門g

倫理のそもそもを考える1

人文・社会	佐藤岳詩
金 4	1単位

倫理学入門h

倫理のそもそもを考える2

人文・社会	佐藤岳詩
金 4	1単位

数学の世界b

社会における確率・統計

自然・生命	濱名裕治
金 5	1単位

言語の諸相d

文字の人類史2

人文・社会	児玉 望
火 5	1単位

病気の医科学c

現代社会と病気

自然・生命	西谷陽子
金 4	2単位

《パッケージ 6》 4 2

社会や歴史の中で私たちの「**こころ**」はどう捉えられてきたのでしょうか。また、こころは**身体や脳**とどのような関係にあるのでしょうか。こころがいかに関作られてきたか、またはどう物事に反応するかなどを多面的に検証することで、多様な心理現象を解き明かす可能性が開けます。本テーマでは、こころという観点から私たちの**生活や慣習**等を点検したうえで、心理学の基礎的な概念や理論について学修します。

キーワード : こころ 、 身体や脳 、 生活や慣習



第1ターム

第2ターム

第3ターム

第4ターム

倫理学入門e

子どものための倫理学1

人文・社会	八幡英幸
火 4	1単位

倫理学入門f

子どものための倫理学2

人文・社会	八幡英幸
火 4	1単位

現代心理行動学d

音楽とコミュニケーション

人文・社会	藤原志帆
火 4	1単位

現代心理行動学c

臨床心理学入門

人文・社会	本吉大介
火 4	1単位

最前線の社会文化研究g

熊本の伝説を探る1

自然・生命	鈴木寛之
金 4	1単位

現代医療と生命科学a

第3の生命鎖「糖鎖」の織りなす世界

自然・生命	大坪和明
金 4	1単位

現代社会と医学c

精神の医学

自然・生命	藤瀬 昇
金 4	2単位

こころの科学A

心理学入門

人文・社会	藤田 豊
金 5	2単位

《パッケージ7》 43

歴史を探究することの醍醐味は、単に年号や人物を暗記することではなく、過去の資料を読み解き、その時代を深く理解することで、**現在の社会**を見つめ直し、さらには**あるべき未来**を構想することにあります。本テーマでは、幅広い時代と地域を対象とするのみならず、できる限り多様な社会・文化的事柄に焦点を当てて日本と世界の歴史を考察することにより、新たな歴史的視座の獲得を目指します。

キーワード： 歴史、現在の社会、あるべき未来



第1ターム

第2ターム

第3ターム

第4ターム

地域の世界史a

近代イギリス社会文化史1

人文・社会 中川順子

火 4 1単位

地域の世界史c

中世ヨーロッパの社会と文化1

人文・社会 法花津晃

金 4 1単位

日本社会の歴史e

博物館史の系譜1

人文・社会 安高啓明

火 4 1単位

日本社会の歴史c

江戸・明治の歴史から考える
日本社会1

人文・社会 今村直樹

金 4 1単位

最前線の社会文化研究e

世界遺産の社会学

人文・社会 松浦雄介

火 4 1単位

物理学入門c

物理学の歴史：古代から19世紀まで

自然・生命 安仁屋 勝

火 5 1単位

日本社会の歴史a

伝承文化史学への誘い1

人文・社会 岩崎竹彦

火 4 1単位

物理学入門d

物理学の歴史：20世紀以降

自然・生命 安仁屋 勝

火 5 1単位

地域づくりと科学技術c

日本建築を歴史的にみる

人文・社会

伊東龍一

金 4

2単位

《パッケージ 8》 4 4

ことばは、無意識のうちに私たちの中に育まれ、他者との**意思疎通**や**思考**を常に支え続ける存在です。その身近さゆえ、私たちはその存在を忘れがちですが、ひとたび目を向ければ、時間的・空間的に多様なことばに備わる精緻な仕組みや、その上に**構築される世界**の無限の広がりには驚きを覚えるはずです。本テーマでは、自然科学の視点も踏まえつつ、様々な角度から**ことばの再認識**を行います。

キーワード： 意思疎通や思考、構築される世界、ことばの再認識



第1ターム

第2ターム

第3ターム

第4ターム

言語の諸相a

日本語における語彙の諸相1

人文・社会 堀畑正臣

火 4 1単位

言語の諸相b

日本語における語彙の諸相2

人文・社会 堀畑正臣

火 4 1単位

現代と言語a

いろいろな日本語1

人文・社会 茂木俊伸

火 4 1単位

現代と言語b

いろいろな日本語2

人文・社会 茂木俊伸

火 4 1単位

現代と文学e

古典芸能鑑賞入門1

人文・社会 竹島一希

水 3 1単位

現代と文学f

古典芸能鑑賞入門2

人文・社会 竹島一希

水 3 1単位

最先端の生命科学a

バイオリソース最前線1

自然・生命 荒木正健

金 4 1単位

最先端の生命科学b

バイオリソース最前線2

自然・生命 荒木正健

金 4 1単位

思考と論理A

論理学入門

人文・社会

大辻正晴

金 5

2単位

《パッケージ9》 45

グローバル化が進む現在、私たちはこれまで以上に世界を知る必要性に迫られています。自然環境をはじめ開発、紛争、移民、メディア、人種、ジェンダーなどをめぐるさまざまな問題が世界中至る所で起こっており、その**歴史的背景と意味**を理解することは急務です。本テーマでは、過去から現在、そして最先端・最前線の**世界の動向**について、人文社会科学のみならず自然科学の視点から考察を加えます。

キーワード： グローバル化、歴史的背景と意味、世界の動向



第1ターム

第2ターム

第3ターム

第4ターム

地域の世界史e

キーワードから見る中国史1

人文・社会	小林 晃
火 4	1単位

地域の世界史i

アメリカ史入門

人文・社会	三瓶弘喜
火 4	1単位

地球環境科学の最前線a

はじめて学ぶ海洋学（浅海編）

自然・生命	横瀬久芳
火 4	1単位

最前線の社会文化研究f

世界遺産の社会学(続)

人文・社会	松浦雄介
火 4	1単位

最前線の社会文化研究A

映像・博物館人類学の現在

人文・社会	香室結美
金 4	2単位

生物の世界b

遺伝子の働き1

自然・生命	武智克彰
金 5	1単位

物理学入門j

高圧の世界

自然・生命	中島陽一
金 5	1単位

法学の基礎A

国際法から見た国際協力の歴史

人文・社会	深町公信
金 4	2単位

《パッケージ 10》 46

科学・技術の発展や政治・経済の変化により多種多様な物と情報が溢れるようになった**現代社会**は、産業や生活環境、所得、人権、性などをめぐりさまざまな問題を抱えています。社会が互いに依存し合う個々人または諸団体によって形成されている以上、これらの問題はどれ一つとしておろそかにできません。本テーマでは、複眼的視点から現代社会とその課題を知ると同時に、来るべき将来社会も展望します。

キーワード： 科学技術、政治・経済、現代社会



第1ターム

第2ターム

第3ターム

第4ターム

現代社会の解説c

社会学の視点1

人文・社会	中川輝彦
火 4	1単位

現代社会の解説d

社会学の視点2

人文・社会	中川輝彦
火 4	1単位

暮らしと情報・通信技術a

人間環境情報入門

自然・生命	松永信智
火 4	1単位

現代世界の形成と課題a

人権と性を考える

人文・社会	鈴木啓孝
火 4	1単位

自然と人間の地理学a

現代日本の地域構造と地域問題1

人文・社会	鹿嶋 洋
金 4	1単位

自然と人間の地理学b

現代日本の地域構造と地域問題2

人文・社会	鹿嶋 洋
金 4	1単位

現代社会と経済a

経済学入門1

人文・社会	大野正久
金 4	1単位

現代社会と経済b

経済学入門2

人文・社会	大野正久
金 4	1単位

暮らしと化学A

身の回りの化学反応

自然・生命	中村政明
火 5	2単位